

## デジタルを活用し 消防団業務の効率化を！

**問** 大規模災害に備えるためには、市民が一丸となって防災意識を高め、具体的な対策を講じる必要がある。消防団はその中核を担う存在であり、更なる連携と効率化が求められるが、団員への火災出動時の出動先や消防水利の場所、被災状況の共有はどのようにしているのか。

また、スマートフォンアプリで、団員が被災地に到着すると、自動的にチェックインされる機能を有するものなどがあるが、そういったデジタル技術を活用して消防団のDX化を進める考えはないのか。

**答** 出動指令の通知については、出動指令と同時に消防団幹部及び出動分団の消防団員に対してメールを一斉送信した後、出動先の地図をメールで送信し、災害地点を迅速に共有している。

また、周辺消防水利については、デジタルマップを活用した西条市消防水利マップを作製し、消防水利の把握に活

用している。

更に、被災状況の共有については、デジタル簡易無線機を活用し、消防本部、団幹部及び出動分団間で、随時、無線通信を行っており、情報伝達の遅れや団員間のコミュニケーション不足が生じない体制作りができていないものと認識している。

なお、デジタル技術を活用し消防団活動の効率化を図ることについては必要性を強く感じており、令和5年からは自治体専用の電子申請ツールであるLoGoフォームを導入し、救命講習の申請などに活用している。

今後、LoGoフォームの活用などによりDX化を進めたい。



LoGoフォーム入力画面

## 西条みらい クラブ

真鍋 顕 伸議員



(一般質問)  
1 愛媛県県立学校振興計画における本市の状況について

### 高校再編に対する

### 本市の見解は？

**問** 県立高等学校の再編整備基準を考慮すると西条農業高等学校は将来的に募集停止となる可能性が高い。

また、令和6年度の小松・東予・丹原高等学校の入学者数にも愛媛県県立学校振興計画の影響が見られる。

このような状況に対して、本市はどのような認識を持っているのか。また、今後、どのような取組を行うのか。

**答**

令和6年度の西条農業高等学校の合格者数は、99人である。再編整備基準である3学級以上の学校で入学生が80人以下の状況が3年続き、その後も増える見込みがない場合、募集停止を行うとする規定に照らし合わせると、中学校卒業生数が今後、減少する中では、募集停止となる可能性は否定できない。

また、統合が予定されている丹原高等学校の志願者数が一昨年度と比較して29人減少しており、今回の振興計画の影響が一定あったのではないかと推察している。

今後は、市内高等学校の情報発信に努め、西条市中・高校長連絡会において、意見交換や情報交換を継続していきたい。



## 公明党 西条市議団

高橋 淑 子議員



(一般質問)  
1 带状疱疹ワクチンについて  
2 子宮頸がん予防対策について

### 接種費用の一部助成を！

**問** 带状疱疹ワクチン接種費用の一部を助成する考えはないのか。

**答** 愛媛県議会において、带状疱疹ワクチンへの助成及び定期接種化を求める意見書が国へ提出されており、本市としても、国や県への要望を行うとともに、国の検討状況や県・他市町の動向を注視し調査・研究していきたい。